

今年度の観光振興

問 目指す観光戦略は 持続可能な観光を確立すべき

答

第二次総合計画等で 構想を示している



質問者の動画が
視聴できます。

こん かつ よし
今 勝吉 議員

つぶやき

「人事を尽くして
天命を待つ」
心境でした



問 今議員

①今年度から目指す観光戦略の方向性は。また、今年度の数値目標と大型連休期間の十二湖周辺の出入状況は。

②積極的に地域連携DMOを活用し、プロモーション戦略や観光資源の開発で観光消費額の拡大を図り、持続可能な観光を確立するべきと思うが。

答 町長

①「深浦町第二次総合計画」等で全体的な構想を示している。また、「深浦町過疎地域持続的発展計画」で具体的な事業を掲げており、観光入込目標は、「第一次十二湖振興戦略プラン」の最終年の2026年に65万人と設定した。（昨年2023年の観光入込実績が4万352人）4月27日から5月6日までの十二湖キヨロ口駐車場の利用台数は3360台（約6900人）で前年比107パーセント、またアオーネ白神十二湖における宿泊客数は480名で前年比118パーセント、県内客13パーセント、県外客87パーセントの割合であったとの報告を受けている。

②観光客に「深浦町に来てよかった」と感じてもらったことはもちろんだが、満足だけでは地域経済の活性化には不十分で、大切なことはやはり「しつかり稼ぐ」ことだと思う。SNS等での情報発信、観光客のニーズを取り入れたコンテンツ開発など、引き続き、観光協会や県、そしてDMOクランピオニー津軽、五能線沿線連絡協議会、環白神工コッリズム推進協議会等とも広域的な連携を図り、当町の観光産業が地域経済のけん引役となることを目指し、持続可能な観光振興に努めていく。



医師の働き方改革

地域医療に影響は
深浦診療所はどうなの

『深浦診療所には影響はない』

問 今議員

4月からの「医師の働き方改革」だと、医師不足になって地域医療に影響があるのではないかと。深浦診療所はどうなのか。

答 町長

深浦診療所は、時間外勤務はないので、診療体制に影響はない。また、深浦診療所は当町唯一の医科として、住民の健康維持や疾病対応等を含めた「かかりつけ医療機関」として、さらに重要となっていく。人口減少社会でも、保健センターと連携し、医療・介護の総合的なサービスを提供する「地域包括ケアシステム」を推進していく。



※DMO＝地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりの司令塔となる法人